

病害虫防除技術情報第11号

平成 23 年 10 月 18 日
三重県病害虫防除所

ネギのネギアザミウマが多発しています

- 1 対象作物 : ネギ
- 2 対象害虫名 : ネギアザミウマ
- 3 発生状況
 - 1) 巡回調査圃場での被害葉率は、9月上旬は 24.0% (平年 14.3%)、10月上旬は 21.4% (平年 11.6%) であり、多発しています (表)。
 - 2) 例年、本種の発生は 11 月頃まで続きます。1 か月予報 (10 月 14 日名古屋地方気象台発表) によると、向こう 1 か月の気温は低くないと予想され、発生に好適な条件と考えられます。

表. ネギアザミウマによる被害状況

調査場所	被害葉率 (%)	
	9月上旬	10月上旬
松阪市松名瀬町 1	—	26.0
松阪市松名瀬町 2	—	25.3
伊勢市東豊浜町 1	34.0	13.3
伊勢市東豊浜町 2	19.3	20.0
伊勢市東豊浜町 3	14.0	14.7
伊勢市東豊浜町 4	28.7	29.3
平均	24.0	21.4
平年	14.3	11.6
平年比	多	多
松阪市嬉野川北町 (定点・無防除)	62.7	16.7

※各圃場 150 葉 (50 株×3 葉) を調査。

※平年値は過去 10 年間 (平成 13~22 年) の平均。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するため、カスリ状に白くなります。被害が目立つと商品価値を損ない、多発すると生育不良となります。
 - 2) 増殖力は高く、多発すると防除が困難になるので、早期防除を行ってください。
 - 3) 必要な場合は展着剤を加用し、薬液が葉面によくかかるよう、ていねいに散布してください。
 - 4) 農薬はラベルの表示を確認し、正しく使用してください。